

■はじめに■

この「磯子のABC」は、区内を9つの地区に分類し、国勢調査など様々な統計資料を中心に、磯子区の状況をコンパクトにまとめたデータ集で、5年に1度国勢調査の結果公表に合わせて作成しています。（今回は平成27年国勢調査結果を反映）

地区ごとに、人口・世帯数・高齢化率などをみることができます。

これからの地域における活動や地域支援などに活用してください。

平成29年9月

●磯子区の概況

磯子区には、平成28年9月末現在で約168,200人、約80,000世帯が暮らしています。平均世帯規模は2.10人/世帯となっています。

年齢構成は、横浜市全体と比較すると、年少人口（0～14歳）や生産年齢人口（15～64歳）が少なく、高齢者（65歳以上）が多くなっています。

世帯規模は横浜市の平均に比べてやや小さくなっています。

区の総人口は、安定した状態です。しかし、年齢別の人口は変化しており、生産年齢人口比率の低下、高齢人口比率の上昇が続いています。

●磯子区の人口・世帯数の概要

	平成18	平成23	平成28	平成18 ～23年	平成23～ 28年	平成23 年比率 (%)	平成28 年比率 (%)	平成28年 市平均比 率(%)
人口 (人)	165,868	164,738	168,234	▲ 1,130	3,496	100.0	100.0	100.0
0～14歳人口 (人)	20,370	19,669	20,163	▲ 701	494	11.9	12.0	12.7
（内0～5歳） (人)	8,177	7,894	8,257	▲ 283	363	4.8	4.9	4.9
15～64歳人口 (人)	112,638	107,107	103,309	▲ 5,531	▲ 3,798	65.0	61.4	63.7
（内20～24歳） (人)	9,312	8,029	8,033	▲ 1,283	4	4.9	4.8	5.1
（内25～39歳） (人)	39,003	34,204	30,122	▲ 4,799	▲ 4,082	20.8	17.9	18.5
65歳以上人口 (人)	32,860	37,962	44,762	5,102	6,800	23.0	26.6	23.6
（内65～74） (人)	18,887	19,978	23,200	1,091	3,222	12.1	13.8	12.4
（内75歳以上） (人)	13,973	17,984	21,562	4,011	3,578	10.9	12.8	11.2
世帯数 (世帯)	74,651	77,362	79,978	2,711	2,616			
平均世帯規模 (人/世帯)	2.22	2.13	2.10					2.13

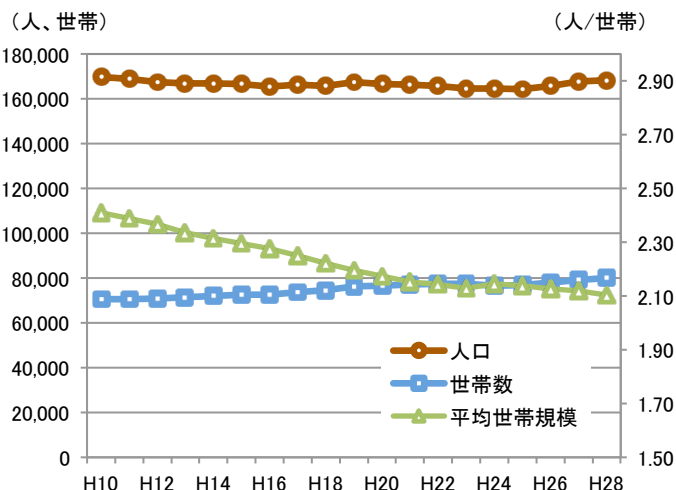
*「町丁別世帯と男女別人口」、「町丁別年齢別男女別人口」による。平成28年9月末現在。

*以下では、基本的に、人口、世帯数、年齢別人口は毎年横浜市政策局により公表されている最新の町丁別集計データを活用しています。

家族の類型や居住する住宅の状況などについては「国勢調査結果」を、産業別従業者については「経済センサス」の町丁別集計結果を活用しています。

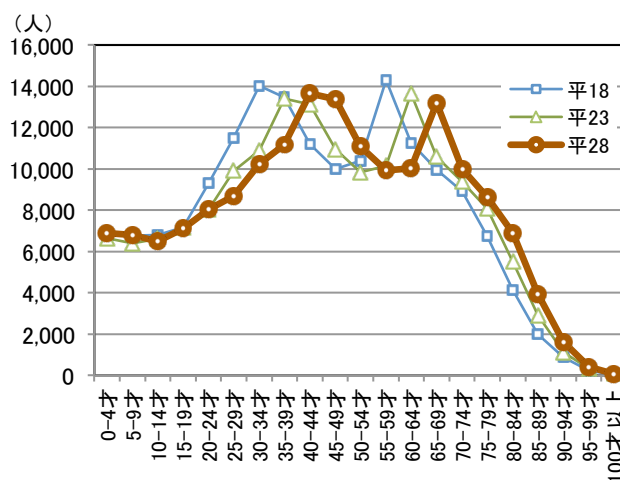
*町丁別の密度で使用する面積は、図上(GIS使用)で計測した面積を活用しています。

●人口・世帯数・平均世帯規模の動向



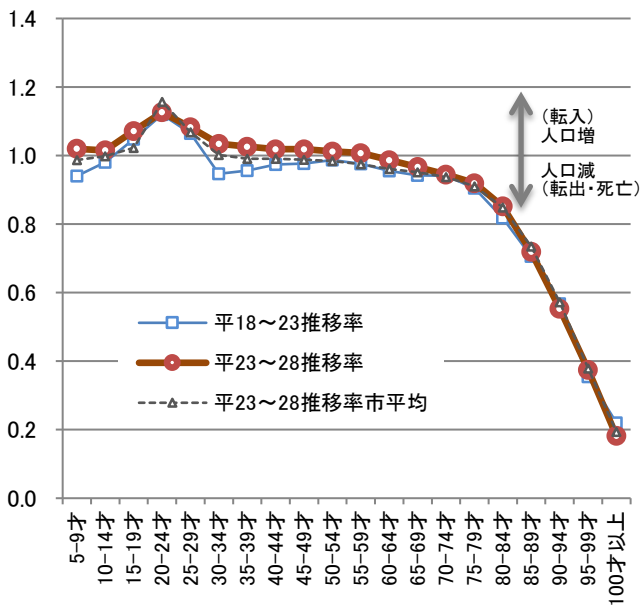
*各年「町丁別世帯と男女別人口」による。9月末現在

●年齢5歳階級別の人口の変化



*各年「町丁別年齢別男女別人口」による。9月末現在

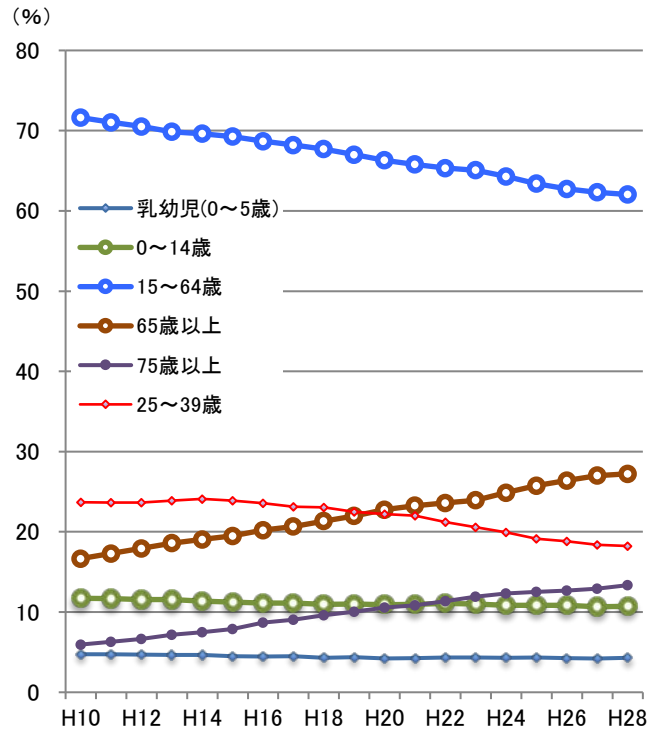
●年齢5歳別人口の変化（推移）率



*各年「町丁別年齢別男女別人口」による

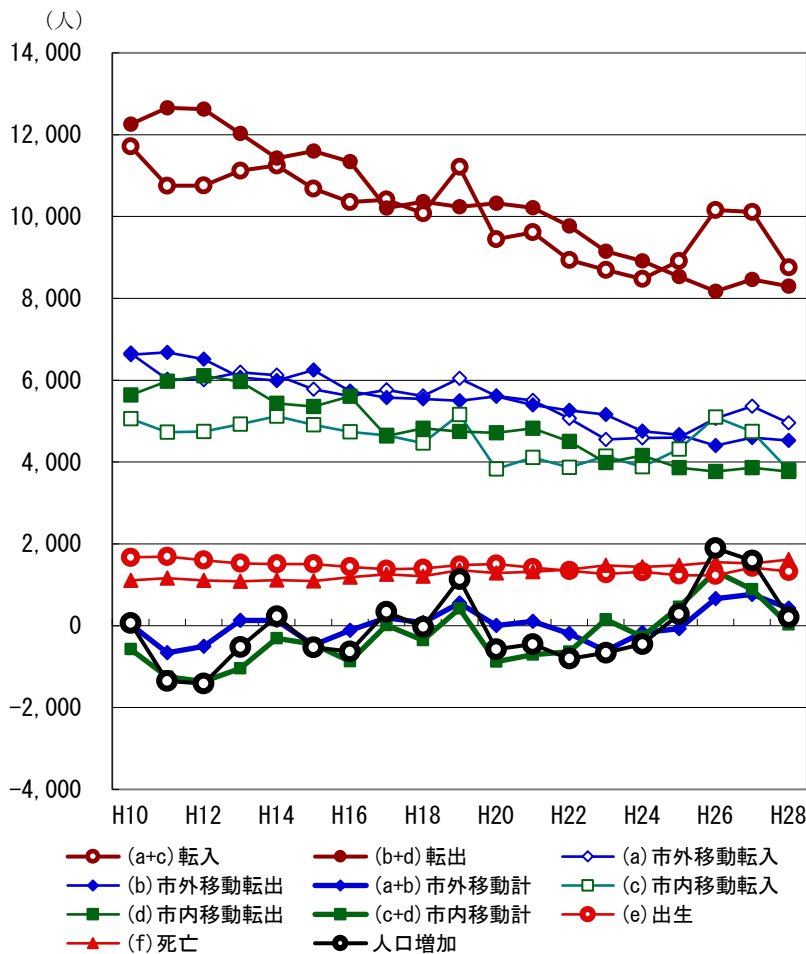
*推移率：この場合は、年齢5歳別人口が、死亡、転出入によって5年後にどう変化するかをみる指数。現在の5歳階級別の人口÷5年前の5歳若い5歳階級の人口

●年齢別人口の動向（比率）



*各年「町丁別年齢別男女別人口」による。9月末現在

●磯子区の人口動態



*各年「人口異動総括表」による

世帯数は、緩やかな増加傾向が続いています。

世帯規模は縮小傾向が続いてきましたが、近年は安定化する傾向がみられます。

年齢5歳別の変化率(推移率)は、20～24歳の転入増加傾向が続いている他、住宅開発があったこともあり69歳以下の年齢層で変化率が上昇し59歳以下の年齢層は変化率が1.0を上回った(転出から転入増加傾向に変化した)ことがわかります。

人口の移動は、徐々に少なくなる傾向がありますが、年間8,000～10,000人前後が転出入しています。平成26年以降は、住宅開発により転入が一時的に多くなり、人口も年間2,000程増加する状態になりました。

平成22年頃から、死亡数が出生数を上回るようになってきています。